



SUPPORTED BY



## 第 11 回水道技術国際シンポジウム

The 11th International Symposium  
on Water Supply Technology  
in YOKOHAMA 2019

### 論文募集のご案内

開催期間：2019年7月9日（火）～11日（木）  
会場：パシフィコ横浜会議センター 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1  
メインテーマ：水道サービスとその将来 ―信頼、持続、そして、スマート―  
主催：第11回水道技術国際シンポジウム実行委員会  
事務局：（公財）水道技術研究センター、横浜市水道局  
後援：国際水協会（IWA）、厚生労働省（予定）、（公社）日本水道協会、全国簡易水道協議会、（独）国際協力機構（JICA）、（公社）国際厚生事業団（JICWELS）、NPO法人日本水フォーラム、Watershare  
協賛：（一社）日本水道工業団体連合会、（公社）全国上下水道コンサルタント協会、（株）日本水道新聞社、（株）水道産業新聞社

---

## ご挨拶

---

本シンポジウムは、日本で唯一、定期的に開催される水道技術に関する国際会議です。1988年に第1回を神戸市で開催して以来、3年に1回開催して参りました。今回、第11回を2019年7月にパシフィコ横浜において開催いたします。

施設の老朽化、人口の減少など、水道事業は数多くの課題を抱えております。その中で、将来のビジョンを描き、新たな取り組みに挑戦する事こそが、課題を克服するための重要な足掛かりとなります。また、近年は情報通信技術が飛躍的な発展を続けています。今やコンピューターの世界にとどまらず、我々の生活の至るところで情報通信技術が活用されています。水道においても「水道のスマート化」が注目を浴びており、事業の最適化や効率化のため、こうした技術を積極的に取り入れていく動きが活発になってきています。こうした動向を踏まえ、今回のシンポジウムではメインテーマを「水道サービスとその将来 ―信頼、持続、そして、スマート―」といたしました。

つきましては、できるだけ多くの方々から日頃の研究成果や実践内容をご発表いただき、本シンポジウムが水道界にとって実りの多いものになればと存じます。

なお、公募論文については、3つの分科会において、口頭もしくはポスター発表を行っていただく予定です。

皆様の論文のご応募を、心よりお待ちしております。

### 第11回水道技術国際シンポジウム実行委員会

委員長 公益財団法人 水道技術研究センター  
理事長 大垣 眞一郎

副委員長 横浜市水道局 水道事業管理者  
水道局長 山隈 隆弘

---

---

## 目次

---

---

ご挨拶 .....	- 1 -
目次 .....	- 1 -
1 シンポジウム概要 .....	- 2 -
1.1 基本事項 .....	- 2 -
1.2 会場案内 .....	- 2 -
1.3 開催テーマ .....	- 3 -
1.4 プログラム .....	- 3 -
1.5 参加登録料 .....	- 4 -
2 論文（口頭発表及びポスター発表）募集要項 .....	- 5 -
2.1 要項の趣旨 .....	- 5 -
2.2 募集スケジュール .....	- 5 -
2.3 優秀者に対する表彰について .....	- 5 -
2.4 応募（アブストラクトの提出）方法 .....	- 6 -
2.5 採否の決定と通知等 .....	- 6 -
2.6 分科会キーワード .....	- 7 -
2.7 各種作成要領 .....	- 7 -

---

---

# 1 シンポジウム概要

---

---

## 1.1 基本事項

名 称	第 11 回水道技術国際シンポジウム
会 期	2019 年 7 月 9 日（火）～11 日（木）
使 用 言 語	日本語及び英語（同時通訳あり）
参 加 者 数	700～1,000 人程度

## 1.2 会場案内

パシフィコ横浜 会議センター

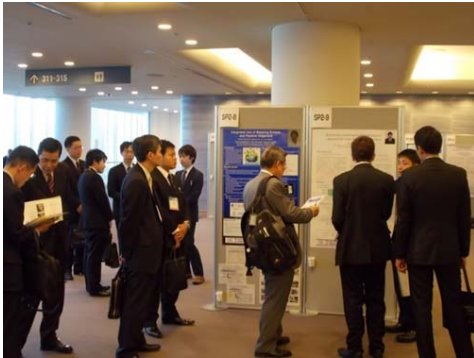
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

1F メイン会場

5F 第 1～3 分科会会場

5F ポスターセッション会場（フォワイエ）





分科会会場

ポスターセッション会場

(過去水道技術国際シンポジウム開催時)

### 1.3 開催テーマ

- メインテーマ : 「水道サービスとその将来 –信頼、持続、そして、スマート–」
- 第 1 分科会 : 「浄水処理、水質管理とその将来」
- 第 2 分科会 : 「管網管理、更新とその将来」
- 第 3 分科会 : 「事業運営、リスク管理とその将来」

### 1.4 プログラム

<7月9日(火)>

[午前] ・開 会 主催者・来賓挨拶

・基調講演 古米 弘明 (東京大学大学院 教授)

・海外特別講演 国際水協会(IWA)会長またはその代理者

[午後] ・海外招待講演 座長:伊藤 禎彦 (京都大学大学院 教授)

(終了後、レセプションを予定)

<7月10日(水)>

[午前] ・ポスターセッション (掲示及びショープレゼンテーション)

・分科会における海外招待講演 (分科会各1名)

第1分科会「浄水処理、水質管理とその将来」

座長:松井 佳彦 (北海道大学大学院 教授)

第2分科会「管網管理、更新とその将来」

座長：長岡 裕（東京都市大学 教授）

第3分科会「事業運営、リスク管理とその将来」

座長：石井 晴夫（東洋大学 教授）

[午後]・分科会（口頭発表）

<7月11日（木）>

[午前]・総合パネルディスカッション

座長：滝沢 智（東京大学大学院 教授）

・閉会 主催者挨拶

[午後]・テクニカルツアー（オプション）

#### 1.5 参加登録料

	早期登録料金（税込） （アーリーバード） 【申込期限 2019年3月末日】	通常料金（税込）	備考
会員	50,000 円	55,000 円	JWRC 会員及び IWA 会員
非会員	70,000 円	75,000 円	
学生	30,000 円		レセプションは含まない

---

---

## 2 論文（口頭発表及びポスター発表）募集要項

---

---

### 2.1 要項の趣旨

この要項は、第 11 回水道技術国際シンポジウムの論文（口頭発表及びポスター発表）を準備・登録する場合の取り扱いについて定めたものです。論文に関する全体の流れとしては、応募（アブストラクトの提出）、採否の決定と通知、フルペーパーの提出（口頭発表の場合）またはポスター作成（ポスター発表の場合）となります。

### 2.2 募集スケジュール

アブストラクト提出締切	2018年 <del>9月30日（日）</del>	10月31日（水）
アブストラクト採否通知	2018年 <del>11月（予定）</del>	12月（予定）
フルペーパー提出締切	2019年 <del>1月（予定）</del>	2月（予定）

### 2.3 優秀者に対する表彰について

口頭発表及びポスター発表について、優秀者に対し表彰を行います。

シンポジウム最終日に表彰を行う予定です。

詳細については、確定次第、第11回水道技術国際シンポジウムウェブサイト（以下、公式ウェブサイト）にてお知らせいたします。

## 2.4 応募（アブストラクトの提出）方法

- アブストラクトは、公式ウェブサイトにて配布しているテンプレートを使い、公式ウェブサイトよりオンライン登録して下さい。
- アブストラクトは英語のみの募集となります。
- 分科会種別（第1分科会、第2分科会、第3分科会）を選択して下さい。
- 口頭発表またはポスター発表を選択して下さい。
- 口頭発表は、各分科会12編程度（発表＋質疑：20分）を予定しています。
- ポスター発表は、参加者からの質疑の時間を設定するほか、ショートプレゼンテーションをお願いする場合があります。

## 2.5 採否の決定と通知等

- アブストラクトの査読後に採否を決定し、応募者に通知します。
- 採否の判定は、第11回水道技術国際シンポジウムプログラム委員会が行います。
- 採否の決定通知の際に、発表形式（“口頭”または“ポスター”）も通知されます。
- 口頭発表希望者が多数の場合は、ポスター発表に変更して頂く場合があります。
- 口頭発表は日本語または英語です。同時通訳での対応となります。

### [採否通知後の提出物等について]

- 口頭発表に採択された場合  
提出物：英文フルペーパー、和文アブストラクト  
講演集に掲載いたしますので、和文アブストラクトを提出して下さい。  
和文のアブストラクトの作成が困難な方については、事務局にて英文アブストラクトを翻訳いたします。
- ポスター発表に採択された場合  
提出物：和文アブストラクト  
また、ポスター発表当日（7月10日）に英文のポスターを持参して下さい。  
講演集に掲載いたしますので、和文アブストラクトを提出して下さい。  
和文のアブストラクトの作成が困難な方については、事務局にて英文アブストラクトを翻訳いたします。



## 2.6 分科会キーワード

### <第1分科会>「浄水処理、水質管理とその将来」

Advanced Treatment, AOP, Membrane Filtration, UV Disinfection, Waterborne Diseases, Emerging Substances, Upgrading Water Treatment Plants, Water Quality Monitoring, Water Safety Plan, Risk Based Approach, Climate Change

### <第2分科会>「管網管理、更新とその将来」

Integrated Management, GIS, SCADA, IoT, Remote Control, Smart Grid, Smart Water Network, Pipe Renewal, Renewal Plan, Stock-management, Downsizing, Trunk Main, Earthquake Resistance, Rehabilitation Methods

### <第3分科会>「事業運営、リスク管理とその将来」

Asset Management, Customer Service, Public-Private Partnerships, Advanced Metering Infrastructure, Smart Meter, Small Water Supplies, Natural Hazards, Resilience, Utility-Utility Collaboration, Business Continuity Plan, Emergency Water Supply, Risk Management

※キーワードは例示であり、これらに限定されません。

## 2.7 各種作成要領

### (1) アブストラクト(論文要旨)作成要領

- アブストラクトは、公式ウェブサイトにて配布しているテンプレートを使い、公式ウェブサイトよりオンライン登録して下さい。
- アブストラクトを提出する際は、タイトル、共著者、キーワード、内容を記入して下さい。
- 英文600words以内、図表がある場合には450words以内、図表は1点のみ。
- カラー製本ではないので、図表はモノクロでも判別できるものとして下さい。
- 事務局では、アブストラクトの文法及びスタイルについてチェックを行いませんので、ネイティブチェックを受けて下さい。
- 概要・本文を含めて、商品名等、宣伝色はお控え下さい。

[アブストラクト製本イメージ図]

オンラインで提出したアブストラクトは、下記のイメージ図のように製本されます。図表を挿入する場合は、下部に配置されます。

なお、あくまでもイメージですので変更する場合があります。

(Initial page layout)

① **Sample Layout: Title of Article Should Concisely and Accurately Specify Subject of Paper**

② A. B. Fish\*, C. D. Flesch\* and E. Fowle\*\*

③ \* Department of Superficial Research, University of Life, 99 Crow Road, Addlestep, Borseshire BB3 1TC, UK  
\*\* Budget & Billham plc, Hamilton House, Hangover Square, London N1 4TS, UK

④ **Keywords**  
Abstract, author details, example, headings, layout, title page

⑤ Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance). Up to 600 words on one A4-format page with up to a diagram. Do not advertize commercial products or services or refer to their names in text. Use 12-point Times New Roman font in Microsoft Word documents (same formatting will apply to documents to be submitted upon acceptance).

⑥ **Table 1.** This is an example of table layout. It shows the dimensions of the text area to be used for *Water Science and Technology* articles and of international and US paper sizes (and the consequent recommended margin settings). Note that a minimum number of horizontal rules and (usually) no vertical rules are used.

	Text area (mm)	A4 paper		US (Imperial) paper	
		(mm)	(in)	(mm)	(in)
Depth	250	297	11.69	279.32	11.0
Top/bottom margin	-	25	1.0	15	0.6
Width	170	210	8.27	215.84	8.5
Left/right margin	-	20	0.8	23	0.9

①タイトル

②執筆者名

③各執筆者の国・所属団体・役職

④キーワード

⑤アブストラクト

⑥図表

## (2) フルペーパー（論文）作成要領

---

### テンプレート

公式ウェブサイトよりダウンロードして下さい。

URL <https://water2019.jp>

### 原稿作成

- 原稿はテンプレートに従って作成して下さい。
- 論文の作成は英語で行い、A4で8ページ以内（概ね4,500words程度）として下さい（参考文献、図表等を含む。）。
- 論文の文法及びスタイルについては、ネイティブチェックを受けて下さい。
- 投稿論文は、未発表の調査・研究に関するものとして下さい。商業目的が強いものや研究目的のみを述べているもの、あるいは本ガイドラインに沿った投稿でない場合は、受け付けられないことがあります。

### [注意点]

フルペーパー提出ファイルはPDF形式とし、容量は5MBまでとして下さい。

### 内 容

論文としての体裁を成すこと。具体的には以下の事項を含めて下さい。

タイトル	<ul style="list-style-type: none"><li>・書体は16ポイントTimes New Romanの太字</li><li>・各単語の最初の文字のみ大文字で表記</li><li>・「執筆者名」との間は2行分スペースを空ける</li></ul>
執筆者名	<ul style="list-style-type: none"><li>・書体は10ポイント Times New Roman</li><li>・執筆者（筆頭著者、および共著者）の名前・所属を表記</li><li>・「概要」との間は2行分スペースを空ける</li></ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・書体は10ポイント Times New Roman</li><li>・研究の目的、得られた主な結果、導き出された結論について200words以内で簡潔に記載</li><li>・「キーワード」との間は1行分スペースを空ける</li></ul>
キーワード	<ul style="list-style-type: none"><li>・書体は10ポイント Times New Roman</li><li>・今後の要約作成や情報検索システムによる文献検索が可能となるよう、キーワードを3から6個（アルファベット順で）記載</li></ul>
本文	<ul style="list-style-type: none"><li>・書体は12ポイント Times New Roman</li><li>・行間はシングルスペースで、本文は左揃えでインデントは不要</li><li>・段落の区切りには一行分スペースを空ける</li></ul>
本文の構成	<p>以下の構成として下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・序論 - 研究の背景と目的について記載</li><li>・研究の方法 - 使用した方法/手段についての簡単な説明（容易に参</li></ul>

	<p>照可能な文献等が引用されていれば具体的方法についての説明は不要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得られた結果とその検討 - 得られた実験結果について傾向や重要ポイント等を含め具体的に説明</li> <li>・結論 - 論文の主題である研究の意義と意味について簡単に説明</li> </ul>
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧可能な文献とする</li> <li>・本文中で引用されている文献を漏れなく文献リストに含めるとともに、本文中に記載の日付及び執筆者名と文献リストの内容の間に整合性を持たせる</li> <li>・引用されている文献の検索が可能となる十分な情報を掲載（具体的な記述方法については下記を参照）</li> </ul>
その他	Section Headingsには、番号や記号を付加しない

#### 用語および単位

- 専門用語や表記については、広く理解可能なものを使用して下さい。略語や頭字語については、本文中で最初に使用する際に完全な表記を掲載しなす。
- SI 単位系の使用が強く推奨されます。SI 単位以外の単位系を使用する必要がある場合は、SI 単位換算値（あるいは換算係数）を併記して下さい。
- 小数点は、コンマではなく小数点を使用して下さい（3, 142ではなく3. 142）。
- 式については、無次元化形式あるいはメートル法で表記して下さい。（本文中あるいは式の）変数については、イタリック体で表記して下さい。

#### 図表および画像

- 図表は番号順に掲載し、本文中で言及するとともに、最初の引用箇所に近い場所に配置して下さい。
- 表のタイトルは表の上に、図のタイトルは図の下に記載して下さい。
- 図表は全て本文のサイズ内に収めて下さい。
- 図形については編集過程でサイズ調整する場合もあるので、倍率ではなく尺度を使用して下さい。
- 図表はカラー製本ではないので、モノクロでも判別できるものとして下さい。図表の背景は、基本的に白無地として下さい。

#### 参考文献：本文中の引用

- 執筆者の姓及び発行年を記載： Jones (2002) または (Jones 2002).
- 同姓かつ同発行年の異なる2人の執筆者がいる場合は、イニシャルを挿入して下さい。（例：Jones. A(2002)、Jones. B(2002)など）

- 執筆者名の後に複数の発行年を記載する場合は古い順に並べ、また同一執筆者による同一発行年の複数文献についてはa, b, cという様にアルファベットを付けて区別して下さい。 : Brown (1999, 2002, 2003a, b).
- 複数文献を同時に引用する場合は、例えば次のように日付順に記載して下さい。 : (Smith 1959; Thomson and Jones 1992; Green 1999).
- 発表の準備段階で未発表の論文については、日付ではなく「(in press)」と記載して下さい。
- 投稿済みでまだ発表予定のない論文については、「(submitted)」と記載して下さい。論文がまだ作成中の場合は、「(in preparation)」と記載して下さい。
- 引用されている論文について、3人以上の共執筆者が存在する場合は、本文中においては「et al.」を使用して下さい。本文中で引用されている文献が参考文献リストの内容と整合しているか、またその逆についても、ダブルチェックして下さい。

#### 参考文献リスト

- 参考文献は、以下の例を参照して下さい。なお、本文中では「et al.」とする共著者については、文献リストにおいては全ての執筆者を記載して下さい。

#### 専門誌参照例

Zeng, R. J., Lemaire R., Yuan Z. and Keller J. (2004). A novel wastewater treatment process: simultaneous nitrification, denitrification and phosphorus removal. *Water Science and Technology*, 50(10), 163-170.

なお、2008年より前に「Water Science and Technology」に掲載された論文を明確に特定するため、発行番号だけでなく巻数についても記載して下さい。

#### 書籍参照例

##### (i) 編集記事

McInerney, M. J. (1999). Anaerobic metabolism and its regulation. In *Biotechnology, J. Winter* (ed.), 2nd edn, Wiley-VCH Verlag, Weinheim, Germany, pp. 455-478.

##### (ii) 共執筆論文

Henze M., Harremoës P., LaCour Jansen J. and Arvin E. (1995). *Wastewater Treatment: Biological and Chemical Processes*. Springer, Heidelberg.

##### (iii) 標準参考文献

APHA (2012). *Standard Methods for the Examination of Water and Wastewater*, 22nd edn. American Public Health Association, Washington, DC, USA.

(iv) レポート

Sobsey M. D. and Pfaender F. K. (2002). *Evaluation of the H<sub>2</sub>S method for Detection of Fecal Contamination of Drinking Water*. Report WHO/SDE/WSH/02.08, Water Sanitation and Health Programme, WHO, Geneva, Switzerland.

(v) 学位論文

Bell J. (2002). *Treatment of Dye Wastewaters in the Anaerobic Baffled Reactor and Characterisation of the Associated Microbial Populations*. PhD thesis, Pollution Research Group, University of Natal, Durban, South Africa.

オンライン・リファレンス

参考先のURLを完全な形で記述するとともに、閲覧日付を記載して下さい。当該資料が現時点で閲覧可能かを、再度確認して下さい。

Alcock S. J. and Branston L. (2000) *SENSPOL: Sensors for Monitoring Water Pollution from Contaminated Land, Landfills and Sediment*. available at: <http://www.cranfield.ac.uk/biotech/senspol/> (accessed 22 July 2005)

外国語 (英語以外) 参考文献

英語以外の参考文献については、タイトル名の英語訳を添えて下さい。

Barjenbruch M., Erler C and Steinke M. (2003) *Untersuchungen an Abwasserteichanlagen in Sachsen-Anhalt im Jahr 2003* (Investigation on wastewater lagoons in Saxony-Anhalt in 2003), Report for the Environment Ministry of Saxony-Anhalt, Magdeburg, Germany

### (3) ポスター作成要領

---

#### テンプレート

公式ウェブサイトよりダウンロードして下さい。

URL <https://water2019.jp>

#### 原稿作成

- 作成は、英文で行って下さい。
- レイアウト及びスタイル
  - サイズ - ポスターパネルの大きさは横80cm×縦120cmとして下さい。
  - タイトル - タイトルには執筆者の氏名、所属及び電子メールアドレスを、併せて記載して下さい。
    - ※ 配付資料 - ポスターの概要及び連絡先情報等を記載したA4 1枚程度の印刷物を、当日配布することも可能です。
- 発表者の写真 - ポスターに掲載して下さい。
- 持込及び掲示 - シンポジウムへのポスターの持込は、発表者の責任とします。指定された時間に執筆者がポスターを掲示し、また撤去して下さい。なお、ポスター執筆者のうち少なくとも1人は、シンポジウムに登録・参加して下さい。

## 論文募集に関するお問い合わせ先

### (論文募集窓口)

住所：〒105-0001

東京都港区虎ノ門 2-8-1 虎ノ門電気ビル 2F\*

\*2018 年内に移転を予定

(公財) 水道技術研究センター

調査事業部 山下、松本、高橋

TEL : 03-3597-0214 FAX : 03-3597-0215

e-mail : sympo\_11th@jwrc-net.or.jp

※窓口対応時間 : 9 : 15-17 : 30、土日祝休み